

企画競争実施に関する公示

平成22年6月28日

国土交通省国土交通政策研究所 所長 服部 敏也

次のとおり、企画提案書の提出を招請します。

1. 業務概要

(1) 業務名：平成22年度

運輸企業の組織的安全マネジメント手法に関する調査研究

(2) 業務内容：

運輸分野においては、平成18年10月に「運輸安全マネジメント制度」が導入されている。運輸企業は輸送そのものの安全は勿論のこと、輸送活動に伴って発生する安全リスクとして、労働災害などがあり、これらを含めた安全確保、広くはコンプライアンス確保を組織的に実施することが求められている。

しかし、事故や労働災害等の防止・軽減と言っても、単にマニュアルを作成すれば安全意識が浸透するというものではない。組織のトップから現場の職員に至るまでシンプルでわかりやすいノウハウを共有し、組織として蓄積することが必要である。さらに、そのノウハウを繰り返し実践し、組織としてマネジメントする手法（以下、「組織的安全マネジメント手法」という）を確立する必要がある。

そのためには、組織的安全マネジメントが浸透し、安全風土となっている優良事例を幅広い産業分野より収集し、ノウハウとして具現化（「見える化」）し、広く活用することが有効であると考え。また、現行の運輸安全マネジメント評価では、安全風土が実際にどれくらい浸透しているかを確認することについては、検討課題があると言われている。この評価方法を確立することは、運輸分野における効果的な組織的安全マネジメントの実施に資すると考える。

そこで、組織的安全マネジメントに係る優良事例の収集により、中小運輸企業向けの手引き（ノウハウ集）をまとめるとともに、現在制度として確立されている「運輸安全マネジメント制度」を元にした新たな「組織分析ツール」の構築を目標に手法の検討を行う。

(3) 履行期限：平成23年3月18日（金）を予定

2. 企画競争参加資格要件

本業務への参加は次の要件を満たしていることが必要である。

(1) 競争参加資格

- ① 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
- ② 平成22・23・24年度国土交通省競争参加資格（全省庁統一規格）「役務の提供等」において関東・甲信越地域の競争参加資格を有する者であること。（但し、地方自治体を除く）

③国土交通省大臣官房会計課長から指名停止を受けている期間中でないこと。

(2) 技術者要件

- ①本業務への配置を予定する技術者（以下「配置予定技術者」という。）として、少なくとも2名登録すること。
- ②配置予定技術者の中から、本業務を管理・監督する「管理技術者」を1名置くものとする。

3. 特定手続の概要

(1) 手続の流れ

- ① 上記の参加資格条件を満たす者は、本調査の企画及び実施に関する書類（以下「提案書」という）を提出する。
- ② 提出された提案書の審査を行い、1者を特定する。

(2) 提案書の評価項目

- ① 企画提案に係る調査内容
- ② 企画提案に係る調査方法
- ③ 企画提案に係る業務実施体制
- ④ 配置予定技術者の手持ち業務の契約金額及び件数

4. 特定手続に係る諸事項

(1) 担当者

〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-2 中央合同庁舎 2号館 15階
国土交通省 国土交通政策研究所 研究官 児玉
研究官 佐藤

TEL : 03-5253-8111 (内線 53-838)

FAX : 03-5253-1678

e-mail: kodama-y2pa@mlit.go.jp

(2) 説明書の交付期間及び交付方法

本業務に係る概要、手続き、評価基準等について示した説明書について、以下のとおり交付する。

○交付期間：平成22年6月28日（月）から平成22年7月13日（火）
18:00 まで

○交付方法：上記（1）において手交する。

(3) 説明会

開催日時：平成22年7月6日（火）10:00～11:00

開催場所：東京都千代田区霞が関 2-1-2

中央合同庁舎 2号館 15階海事局会議室

※ 説明会への出席は任意とする。

※ 出席希望者は、前日7月5日（月）17:00までに連絡すること。

(4) 提案書の提出期限、方法

提出期限：平成 22 年 7 月 20 日（火）12:00 まで

提出方法：上記（1）に持参、または郵送で提出する。

(5) 企画提案に関するヒアリング

提案書の提出の提出期限の日以後、評価の参考とするため、提案書の提出者からヒアリングを行う。実施日時、場所は別途連絡する。

5. その他

- (1) 手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 関連情報を入手するための照会窓口は 4.（1）に同じ。
- (3) 企画提案書の作成及び提出に係る費用は、提出者の負担とする。
- (4) 提出された提案書は、当該提案者に無断で二次的な使用は行わない。
- (5) 提出期限以降における提案書の差し替え及び再提出は認めない。また、特定後においても提案書の記載内容の変更は原則として認めない。
- (6) 提案書に虚偽の記載をした場合は、提案書を無効とするとともに、虚偽の記載をした者に対して指名停止を行うことがある。
- (7) 契約保証金は免除する。
- (8) 契約書は作成する。
- (9) 特定した提案内容については、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」（平成 11 年法律第 42 号）において、行政機関が取得した文書について、開示請求者からの開示請求があった場合は、当該企業等の権利や競争上の地位等を害するおそれがないものについては、開示対象となる場合がある。
- (10) 提案が特定された者は、企画競争の実施の結果、最適な者として特定したものであるが、会計法令に基づく契約手続の完了までは、国との契約関係を生じるものではない。
- (11) その他の詳細は説明書による。